

## 「しんきんグリーンプロジェクト」 の取組みについて

信金中央金庫 サステナビリティ推進部 上席審議役兼グリーンプロジェクト推進室長 広沢 将之

## 信用金庫および信金中金



金庫数	2 5 4 金庫				資金量	3 4 兆円
預金量	161兆円	信用金庫	00	信金中金	拠点数	国内14店舗
店舗数	7, 077店舗					海外 6 拠点
役職員数	9万7千人				グループ会社	9 社
会員数	878万人				役職員数	1,263人

※2024年3月末時点

### 脱炭素社会の実現に向けた連携の枠組み



#### 【専門機関】

㈱脱炭素化支援機構

(一財)持続性推進機構

-財)省エネルギーセンター

-社)環境共創イニシアチブ

555

555

再生可能エネルギー

エネルギー供給

連携協定の締結

全信協

新事業の創出

信金中金

協働

新事業の創出

資金供給

環境省

情報センター

㈱バイウィル

大和ハウス

グループ

e-dash(株)

㈱格付投資

再エネ発電 事業者※

※ 構想段階

資金供給

信用金庫

地域経済エコシステム

地域事業者

地公体

エネルギー需要

【事業会社】



地域事業者の 省エネを促進



地公体施設へ グリーン電力を供給



地域事業者へ 太陽光パネルを設置



ZEB(ネットゼロ・エネルギー・ビル)化 ZEH(ネットゼロ・エネルギー・ハウス)化

### しんきんグリーンプロジェクトの主なサポートメニュー



#### 中小企業の対応

#### 脱炭素化にかかる主なサポートメニュー

STEP1

全社的な意識統一

信用金庫からの情報提供(脱炭素セミナー開催等)

STEP2

現状把握 (見える化) CO₂排出量算出クラウドサービス (e-dash)

需 要 目標

目標・計画策定 (省エネ・再エネ) 省エネ診断 (省エネルギーセンター/環境共創イニシアチブ) 信用金庫による 計画策定支援 (持続性推進機構)コアクション21

STEP4

対応策の実行

省エネ・再エネ設備支援 (大和ハウス)

電力調達プラットフォーム (エナーバンク)

サステナブルファイナンス (SLLFW、サポートツール)

2

J-クレジット創出支援 (バイウィル)

3

信用金庫による 事業者マッチング支援

供給

脱炭素化支援機構(JICN)との連携 によるサポート

再エネ発電事業等にかかるサポート【構想段階】

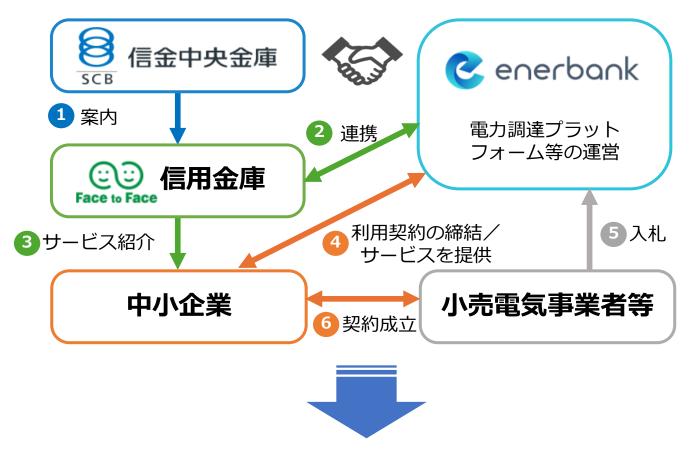
(注) 本サポートメニューにつきまして、取扱いの可否・時期等は、信用金庫毎に異なります。

1

### 電力調達プラットフォームの信用金庫取引先への提供



■ 中小企業における「再工ネ電力の安価な調達ニーズ」に対し、㈱エナーバンクが提供する電力調達プラットフォームで中小企業および小売電気事業者等をマッチングすることにより、脱炭素化・コスト削減にかかる課題解決を実現



## 再エネ電力等の安価な調達による脱炭素化

次の3つのサービスを提供

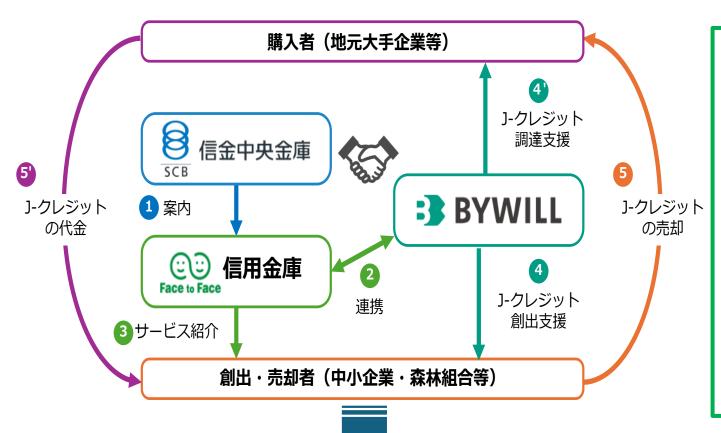
- 1.電力リバースオークション サービス
- ⇒複数の小売電気事業者の中から、**希望条件に合致した 先を選定**し、**最適な電力 契約を締結**することが可能
- 2.環境価値取引サービス
- ⇒ FIT 非化石証書・グリーン 電力証書・J-クレジットを 購入することにより、**CO2 排出量の相殺が可能**
- 3.太陽光発電設備導入支援サービス
- ⇒複数の事業者を比較し、 自己所有または第三者所有 モデル(リース・オンサイト PPA※)方式で太陽光発電 設備を導入することが可能

※ Power Purchase Agreement(電力購入契約)の略

#### J-クレジットの活用による環境価値の創出



- J-クレジット※1の活用による環境価値※2の域内循環を実現するため、㈱バイウィルと連携し、環境価値の 創出・売却者(中小企業・森林組合等)および購入者(地元大手企業等)間の売買等の手続きをサポート
- 信用金庫が環境価値の域内循環を主導することで、投資の好循環を生み出し、脱炭素化の実現に貢献

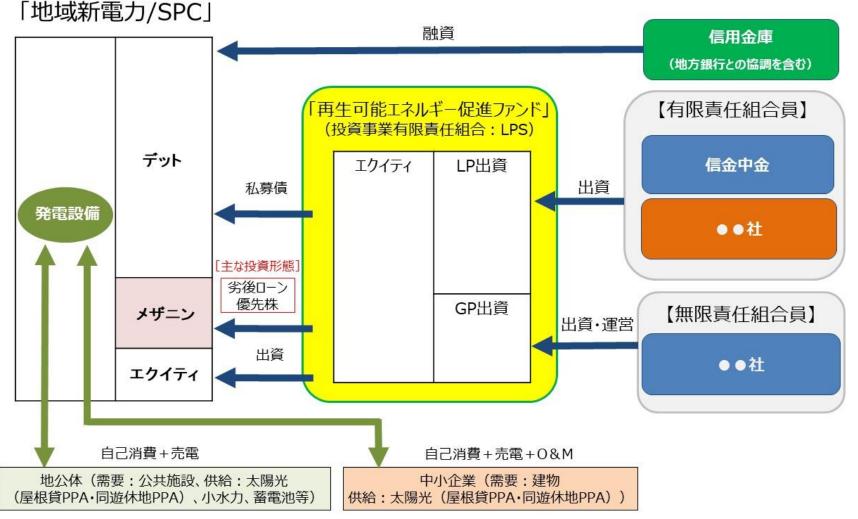


- ✓ J-クレジット創出に向けた すべてのプロセスにおいて、 「初期費用なしの完全成果 報酬型モデルーでサポート を実施
- **✓ J-クレジット制度認定プロ** バイダー※3としての実績 と多くの連携先とのネット ワークによる**高い販売力**を 有し、**創出したJ-クレジッ** トの販売先探索まで支援
- ✓ 小規模な取組みでもJ-クレ ジットの創出支援が可能で あり、幅広いニーズに対し ても対応が可能な体制を 構築
- ※1 森林のCO2吸収量や省エネ設備導入・再エネ利用等によるCO2排出削減量を 「クレジット」として国が認証する制度 環境価値の域内循環 ※2 上記※1によるCO2吸収量・排出量削減効果等の付加価値を指す

  - ※3 J-クレジット制度に基づき、クレジットの創出および活用を支援できる事業者



- 信用金庫が出資等で関与する「地域新電力」の再生可能エネルギー発電事業(太陽光・小水力・蓄電池)等 について、信金中金が事業者と連携し、信用金庫とともに金融・非金融の両面から支援
- 地域に裨益する脱炭素化を通じて、持続可能な地域経済社会の実現に貢献



# **8**信金中央金庫

- 本資料は、信用金庫等の関係者を対象に、情報提供のみを目的として作成しています。
- 本資料は、作成日時点における情報に基づいて作成していますが、将来内容が変更されることもあり、本資料上のサービス等の提供等の履行を約束するものではありません。また、本資料に記載の情報によって生じたいかなる損害についても本中金は一切の責任を負いかねます。

本資料は、記載された取引の一般的説明を目的とするものであり、具体的な取引の条件を提示するものではありません。本資料は、本中金固有の著作物です。

信用金庫等の関係者で利用することのみを目的として作成しており、信用金庫等の関係者以外の第三者に対し開示する権利を信用金庫等の関係者に付与する ものではありません。本資料に記載する全ての事項について、本中金の許可なく複製、配布または転用することを禁止します。

#### 【お問合せ先】

信金中央金庫 サステナビリティ推進部

住所:〒103-0028 東京都中央区八重洲1丁目3番7号

TEL: 03 (5202) 7625

URL: https://www.shinkin-central-bank.jp